

ヒカゲワラビ

Diplazium chinense (Bak.) C. Chr

メンダ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

分布地が稀で、個体数が少ない。(現況:RO)

形態

根茎は横に這い、葉の一部が重なるように接して生える。葉は3回羽状複生、葉身はほぼ3角形、葉柄基部に黒褐色で全縁披針形の鱗片が付く。

国内分布

本州、四国、九州(沖永良部島以北の九州)。

県内分布

内浦区、中能登区、口能登区、南加賀区。

生態など

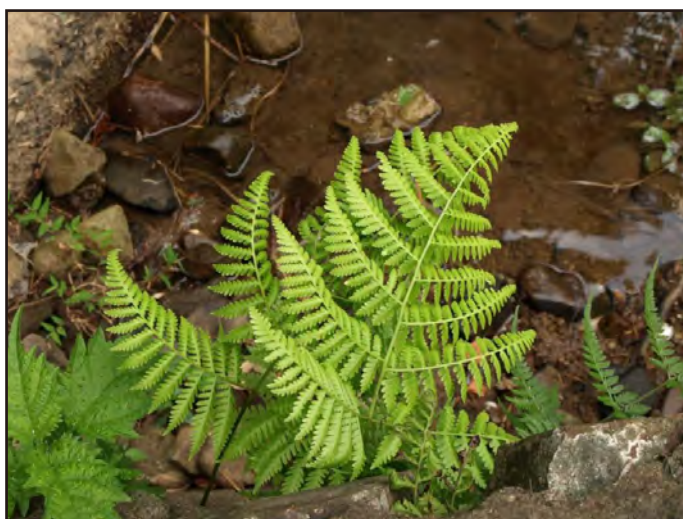
夏緑性の半地中植物、繁殖は根茎と孢子による。孢子は初夏に熟し始め、風で散布する。

生育環境

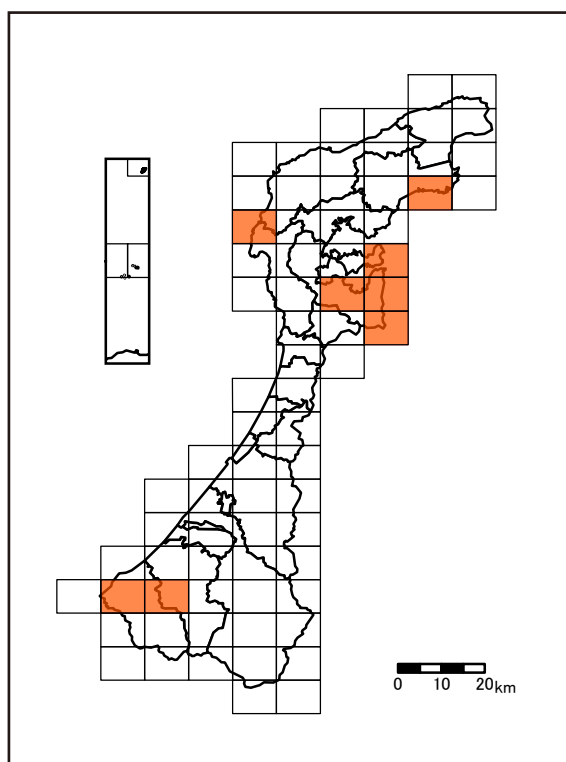
低地、樹林下の陰湿な場所の地上に群生する。

危険要因

森林伐採、河川開発、湿地開発、道路工事、踏みつけ、自然遷移、産地局限。



林 二良・2007年8月19日・外浦



県内の分布